

国土交通省下水道部の要請を受け、下水道施設被害の概要把握や支援要請の規模確認、支援計画の立案支援(管路調査・復旧の助言・支援)を行うため、1/3~5迄は先遣隊、1/5からは支援調整隊として1/23までに延べ44(人日)の下水道の専門家を現地に派遣している。また水道と下水道の連携した復旧支援のため、1/19から1/23までに延べ5(人日)派遣している※)。

※併任先の本省の立場での派遣を含む

先遣隊及び支援調整隊等として、全国の自治体や関係企業と連携しつつ、下記の活動に従事している。

- ・下水管路被害の1次調査(約1,960km)、2次調査(約450km)
- ・下水処理場やポンプ場の被害調査
- ・避難所仮設トイレのし尿を下水処理場へ受け入れるための調整
- ・管路が閉塞し滞留した汚水の輸送方法検討など、応急対応方針検討
- ・上下水道の一体的な応急復旧支援体制の構築



液状化現象により破損したマンホールポンプの調査の様子(羽咋市内)(1月13日)



内灘町の被災の様子(1月19日)



羽咋市での仮復旧の様子(1月19日)